

礼拝「私の主、私の神よ」

○(ヨハネ20:24-29,31,招き: 申命記4:29)藤代 信牧師

1. トマスに現れる 主が復活された早朝、マグダラのマリアが「私は主を見ました」と伝えましたが(ヨハネ20:18)、弟子たちは信じられず、戸に鍵をかけて閉じこもっていました。夕方、復活されたイエス様が来て立たれ、弟子たちは主を見て喜びました。そこに、トマス1人がいませんでした。他の弟子たちは口々に「私たちは主を見た」と言いましたが、トマスは「手に釘の跡を見、指を差し入れ、脇腹の傷に手を入れて、確かめなければ、決して信じない」と言いました。8日後(次の日曜日)、主は再び来られ、1度目と全く同じように「平安があなたがたにあるように」と言われ、トマスに言われました。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」(イエス様は、トマスが言っていたことを聞いておられました。私たちが言っていることもちゃんと聞いてくださいます。)しかし、「不信仰な者よ」と叱られるどころか、1匹の迷える羊を、主は見過ごしも放置もされません。回りの人が恵まれているのに、自分1人悶々と苦しんでいる時にも、主は耳を傾け目を注いでくださいます。「信じないままでいないで、信じる者になるのですよ。」

トマスは今、まざまざと見えています。本当にイエスは復活された！もうみ傷に触れようとせず、イエス様に向かって叫びました。「私の主、私の神よ！」

ここで、大切な2つのことを学びましょう。①トマスはイエス様に「私の主、私の神」と言いました。②イエス様は「見ないで信じる人は幸い」と言われました。2. 「私の主、私の神よ」これは、イスラエルが告白してきた唯一の神アドナイへの信仰です。荒野の旅で神様に反抗した民は死に絶え、次世代が約束の地に入っていきます。モーセも、ネボ山で約束の地を見渡し、生涯を終えます。モーセは最後に、新しい世代に律法を再び語り聞かせたのが「申命記」です。申命記でモーセは唯一の神ヤハウェを、「あなたの神、主」と繰り返します。①「あなたの神、主」は、エジプトで苦しんでいたイスラエルの民を愛し、全能のみ手をもって救い出された方です。②「あなたの神、主」は、どんな危険や敵に直面したときも、あなたと共にいて勝利を与えられました。③「あなたの神、主」は、主を愛し主に従う者に、「わたしが聖なる者であるから、あなたも聖なる者となりなさい」と語りかけた方です。至高の天におられ、遠くかけ離れた神と思っていた方が、「あなたの神、主」となってくださったのです。

預言者ゼカリヤは、「あなたの神、主」と言われた神様を、イスラエルに臨む火のような試練のただ中で、さらに近く「私の主、私の神」と呼びました。「彼らはわたしの名を呼び、わたしは彼らに答える。……彼らは『【主】は私の

神』と言う。」(ゼカリヤ13:9)ダビデも「わが神主よ、私は……とこしえまでもあなたの御名をあがめます」と歌いました(詩86:12)。こうして、「あなたの」神、主となられた方は、さらに近く「私の」神、主となってくださったのです。

トマスもユダヤ人です。それはよく知っていたでしょう。ところが今、主はさらに近づき、目の前に、手でさわれるところに立っておられます。復活されたイエス様こそ、「私の主、私の神。」イエス様、あなたこそ全能の神、私の救い、私を守られる方。私の喜び、いのち、私のすべて。「私の主、私の神よ！」

3. 復活と昇天 もう一つ大切な言葉があります。イエス様は言われました。「見ないで信じる人たちは幸いです。」ある方が聞かれました。「復活されたイエス様と、昇天されたイエス様は違うのですか？」大切な質問です。

①「復活」イエス様は肉体をもって復活され、40日間(期間限定で)弟子たちに現れ、また500人以上に同時に現れました(コリントー15:4-6)。彼らは復活したイエス様の体を見、触れ、イエス様が死によって死に勝ち、生きておられる神であると信仰は不動のものになりました。もし復活されてすぐ、いきなり昇天されたら、誰も自分の目で見られず、信じられなかったでしょう。イエス様は、復活した自分の肉体を見ることによって、誰もが十分信じることができる根拠、証拠とされました。そして、復活されたイエス様を実際に見た証人たちが生きている間に、復活が宣べ伝えられ、誰も反論できませんでした。②「昇天」イエス様は使徒たちが見ている間に昇天され、見えなくなりました(使徒1:9)。地上から宇宙のどこかに行かれたという場所の変化でなく、肉体を持った状態から肉眼で見えない霊の次元に移られ、神として存在されます。それを「神の右に上げられた」、「神の右の座に着いた」と表現します。

昇天されたのは、聖霊を注ぐためでした。昇天し栄光を受けたイエス様を「主(キュリオス)」、すなわち唯一の神ヤハウェ、アドナイと告白し、御名を呼ぶ時、聖霊が注がれます。トマスの前に現れたイエス様は、至高の天から地上にくだり、さらに近づいてきて、私の内に宿って、いつも現存してくださる神様です。「私の主、私の神よ」と信仰を捧げ御名を崇めましょう。

トマスは目の前に、しかしまだ自分の外にいる神を見ましたが、私たちは、私たちの内に宿ってくださった神様を見るのです。神様は御名によってご自身を現わしてくださいませ。過去の出来事ではなく、今も、今後も、またイスラエル民族だけでなく信じるすべての人に、「あなたが呼ぶと【主】は答え、あなたが叫び求めると、『わたしはここにいる』(あなたの内にいる)と主は言われる。」(イザヤ58:9)「見ないで信じる者は幸い」です。復活されたイエス様の体を見ることは次元の違う幸いです。ペンテコステに聖霊を受けたペテロは言いました。「【主】の御名を呼び求める者はみな救われる。」(使徒2:21)共に信仰を捧げ御名を崇めましょう。「私の主、私の神よ」「我は主なり」